

## 町内で営業を再開しました



### 銘酒居酒屋ともえ

町民の皆さんへ

元気に再開しました！  
皆さん、おいでください。

銘酒居酒屋ともえ 代表 植野 和隆  
〒979-1521 浪江町大字権現堂字反町14  
TEL 0240(35)4450

問 産業振興課商工労働係 TEL 0240(34)0247

## なみえのお医者さん

町は、町民の皆さんが安心して生活できるよう住環境の整備を進めています。  
浪江町内で診療を再開した医療機関をお知らせします。



### 豊嶋歯科医院

町民の皆さんへ

8月1日(水)から、権現堂字新町23番地(震災前と同じ場所)で診療を再開いたしました。

一時は、帰還することを諦めておりましたが、先代からお世話になっている浪江町の方々への恩返しの想いで「浪江町と共に70年、家族ぐるみの歯医者さん」として、皆さまの健康促進に寄与させていただきます。お気軽にご相談、お問合せください。

豊嶋歯科医院 院長 豊嶋 宏  
(一般歯科/予防歯科)  
〒979-1521 浪江町大字権現堂字新町23番地  
TEL 0240(23)5633  
URL <https://www.toyoshimadc.jp/>

【診療日】  
月～木曜日(金～日曜日・祝日は休診)  
※完全予約制  
【診療時間/ご予約受付時間】  
9時～12時 14時～18時

ここから下は広告です。

土地・建物・貸家・新築・リフォーム  
のことなら ニーズにおまかせ！  
無料査定します！  
お気軽にお電話ください

総合建設業一級建築士事務所 土地建物総合コンサルタント・環境資材販売  
needs 株式会社 ニーズ浪江支店 0240-35-5833 / 070-2022-6958  
浪江町役場北隣・114号線沿い 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田4-1

# みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取組をしているのかをお知らせします。

## 「福島いこいの村なみえ」オープン

6月20日、福島いこいの村なみえのオープン記念式典が執り行われました。

式典には、国、県、町、施工業者などの関係者に加え、再開を支援していただいた企業の皆さまが出席し、再開支援に対する感謝状の贈呈があった後、テープカットにより、町のシンボリックな施設であった「福島いこいの村なみえ」の再開を祝いました。

福島いこいの村なみえは、既存建物の改修による宿泊棟と二本松市の大平応急仮設住宅で利用していたログハウスタイプの仮設住宅を移築・改装した宿泊施設(コテージ)、サウナ付き大浴場や会議室を備えています。



いこいの村本館正面



テープカット

再開支援のためご寄附いただいた企業の皆さま(順不同)

- 浪江日本プレーキ工業株式会社 様
- 日立化成株式会社 様
- アサヒグループホールディングス株式会社 様
- 株式会社安藤・間 東北支店 様

【宿泊のご予約・お問合せ】

福島いこいの村なみえ(浪江町大字高瀬字丈六10)  
TEL 0240(34)6161 URL <https://www.iko-namie.com/>

ここから下は広告です。

ご自宅のお悩みございませんか？

修繕 片付け 清掃 etc... ご相談ください！

従業員  
随時募集中！

誠意と技術で奉仕する  
東北工業建設株式会社  
本社 〒979-1502 浪江町大字藤橋字原 59-1  
福島事務所 〒960-8252 福島市御山字検田 58-1  
TEL.024-573-4127 FAX.024-573-4128



お問合せは  
担当のおさきまで  
お気軽にお電話下さい。  
024-573-4127



# 町の農林水産業 再生に向けて

岡農林水産課農政係 0240(34)0245  
岡農林水産課農林水産係 0240(34)0246

## 営農再開に向けた 座談会

6月26日、幾世橋地区において、営農再開に向けた座談会を実施しました。  
座談会には、地元農家・農地所有者の方26人が集まり、営農再開に向けての課題出しを中心に話し合いを行い「もともと農業従事者が少ない」「担い手が不足している」「風評被害への不安がある」等の意見が出されました。また、区内で営農再開している農家からは、営農再開に当たって、被災地対象の補助事業を活用した取組を勧める声もありました。

2回目の座談会では、今回出された課題を整理し、営農再開に向けた「今後の方向性」と「必要な対応」について、意見を出し合う予定です。



## 「親孝行豆」の 播種が行われました

6月22日、浪江に古くから伝わる「親孝行豆」の播種作業が行われました。  
親孝行豆は、在来作物として浪江で栽培されてきましたが、東日本大震災および福島第一原子力発電所事故の影響により、栽培が途絶えました。しかし、浪江町内で種苗店を営む佐藤秀三さん（権現堂）が、浪江の在来作物を絶やさないよう、震災後、親孝行豆の種を少しずつ植えて採種することで、大切に守り続けてきました。

作業前に、佐藤さんから親孝行豆の由来について説明があり、播種作業の説明と指導を受けました。

種と種は3センチメートルほどの間隔でまく。間隔が短いと、間引きする際に根が絡まること。また、上に伸びようとするものは、種の下に石がある場合が多く、間引きは成長したものを抜き取ることでした。

今回、播種した面積は5畝（約500平方メートル）。幾世橋地区にある川村博さんが



佐藤秀三さんから親孝行豆の説明を受ける様子

営農している畑には、ボランティアとしてジョンソン・エンド・ジョンソンの社員25人が集まり、夏を思わせる強い日ざしの下、汗を流しながら播種作業を行いました。  
親孝行豆は、煮豆にしたり赤飯に入れたりとおかずはいろいろありますが、若いさやで食べてもおいしいとのこと。今後も「親孝行豆」が浪江の在来作物として受け継がれていくことを願っています。



親孝行豆



熱心に作業するジョンソン・エンド・ジョンソンの皆さん

## 農業委員会だより

\*第11回\*

### 新しい農業委員会がスタートしました

農業委員会委員の任期満了に伴い、町議会の同意を得て、新たな農業委員が町長職務代理者より任命されました。また、農地利用最適化推進委員が農業委員会より委嘱されました。

浪江町では、平成28年4月1日の法改正により農業委員の公選制が廃止され、また、農地利用最適化推進委員が新設された新制度の下で初めての体制となります。

任期は平成30年7月8日から3年間です。

#### 【農業委員 12人】

◎会長 ○会長職務代理者 〈敬称略・議席順〉



- ◎前田 一石 若月 芳則
- 今野美智雄 柴野 正男
- 中野 弘寿 岡 洋子
- ◎佐々木茂夫 小澤 英之
- 石井 絹江 山本幸一郎
- 宮田 芳信 原田 良一

#### 【農地利用最適化推進委員 18人】

〈敬称略〉



- 渡邊 美一 (浪江地区)
- 川島 優 (浪江地区)
- 安部 正之 (幾世橋地区)
- 木村 耕治 (幾世橋地区)
- 上田 順一 (幾世橋地区)
- 金井 正幸 (請戸地区)
- 荒川 勝己 (請戸地区)
- 藤田 一宏 (苅野地区)
- 田中 静夫 (苅野地区)
- 高田 秀光 (苅野地区)
- 大籠 博文 (苅野地区)
- 宮田 幸雄 (苅野地区)

- 桑原 泉 (大堀地区)
- 仲田 信行 (大堀地区)
- 岡田 有一 (大堀地区)
- 末永 久夫 (津島地区)
- 石川 昭悦 (津島地区)
- 紺野 宏 (津島地区)

### 新任のご挨拶



会長  
佐々木茂夫

農業委員会制度の改正により、従来の農業委員のほか、農地利用最適化推進委員が加わり、より地域に密着した活動が求められるようになりました。

原発事故の影響と長期避難により、当町特有の課題が多く存在しますが、委員一同、農業の再生に尽力してまいりますので、農業者の皆さま、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。